

The 9th TRIZ Symposium in Japan 2013

Change Risk to Chance with TRIZ!
Risk to Chance with TRIZ!
Risk to Chance with TRIZ!

開会にあたって

2013年9月5日

NPO法人日本TRIZ協会理事長 三原 祐治

第9回TRIZシンポジウム開催の趣旨と狙い

- 1) TRIZとその関連分野での
 - ・ 初心者・経験者各層へのセミナーの場（1日目）
 - ・ 適用・研究成果の発表・討論の場（1～2日目）を提供し、技術レベルの向上と普及・推進・適用の仕方の向上に資する。
- 2) 日本と世界のTRIZ関係者の交流の場を提供し、TRIZコミュニティの発展に資する。
- 3) 今回の主題：
 - **リスクをチャンスにTRIZで!** -

日本TRIZシンポジウムの開催経緯

2013年8月21日現在

| | 主催 | 開催時期 | 開催場所 | 発表数 | 参加者 |
|-----|-------------------|--------------------|----------------------|-----|------|
| 第1回 | 日本 TRIZ 協議会 | 2005年9月 | ラフォーレ修善寺 | 20件 | 104名 |
| 第2回 | | 2006年8月末 | パナヒルズ大阪 | 34件 | 157名 |
| 第3回 | | 2007年8月末 | 東芝研修センター | 34件 | 204名 |
| 第4回 | 日本 TRIZ 協会 | 2008年 9月10日～12日 | ラフォーレ琵琶湖 (滋賀県) | 46件 | 180名 |
| 第5回 | | 2009年 9月10日～12日 | 国立女性教育会館 (埼玉県) | 42件 | 132名 |
| 第6回 | | 2010年 9月9日～11日 | 神奈川工科大学 (神奈川県厚木市) | 40件 | 165名 |
| 第7回 | | 2011年 9月8日～10日 | 東芝研修センター (横浜市) | 33件 | 115名 |
| 第8回 | | 2012年 9月6日～8日 | 早稲田大学 (東京都新宿区) | 37件 | 110名 |
| 第9回 | | 2013年 9月5日～6日 | 統計数理研究所 (東京都立川市) | 28件 | 122名 |

今回（第9回）シンポジウムの特徴

1) 会期を2日間に圧縮

- ・最近の経済状況から、より参加しやすいように変更
- ・初心者向けのチュートリアル
- ・一般講演は全てパラレルセッション

2) シンポジウムの主題（リスクをチャンスにTRIZで！） に沿った基調講演・特別講演・特別セッションを設定 ＜次ページのスライドを参照＞

3) 各種団体の支援を大幅に拡大

- ・後援：統計数理研究所、日本知財学会
- ・協賛：日本科学技術連盟、日本設計工学会、日本創造学会、
日本バリュー・エンジニアリング協会

第9回TRIZシンポジウム招待講演・特別セッション

基調講演：TRIZに基づく技術予測によるリスク削減と機会開拓
— Gaetano Cascini (ミラノ工科大学、イタリア)

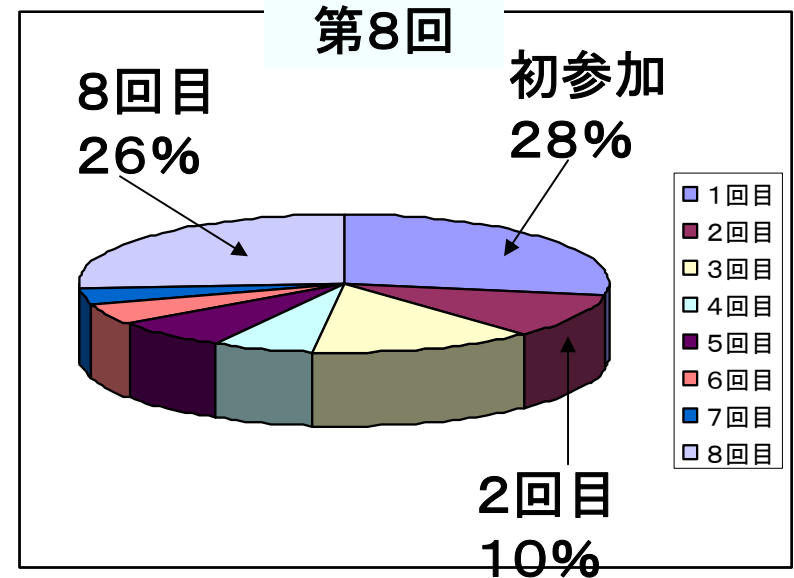
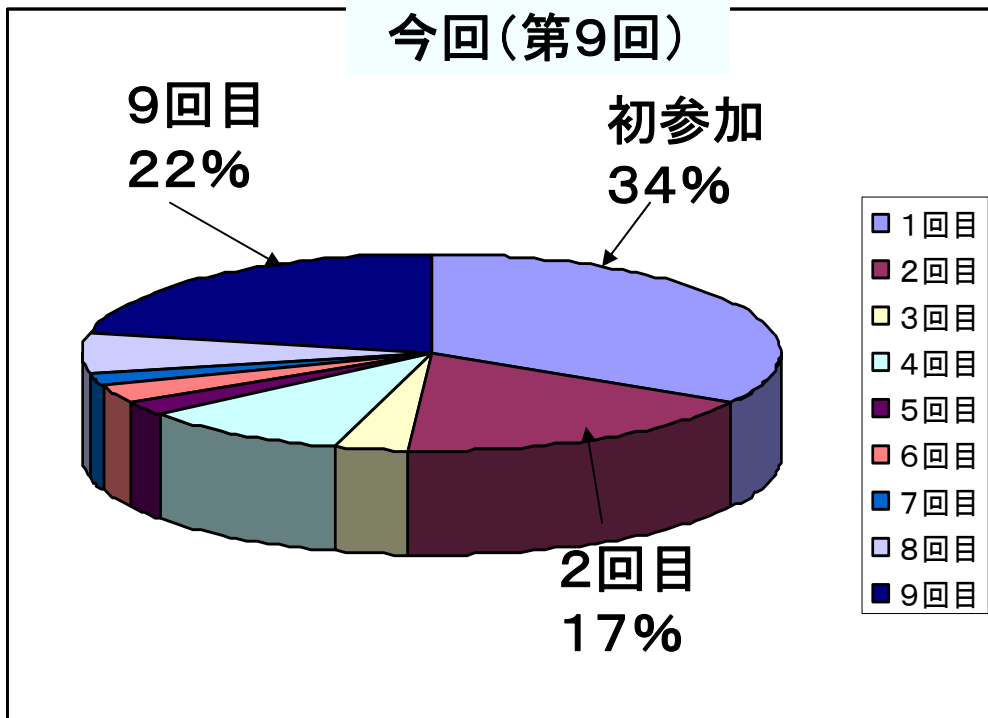
特別講演：価値創生のための技術開発の文法
— 椿 広計 (統計数理研究所)

特別講演：何が韓国をこれほどまでTRIZに熱中させるのか？
— Jeongho Shin (KATA, 韓国学術TRIZ協会)

特別セッション：トップ事象モードと故障モードに着目した
未然防止へのシステム学
— 鈴木 和幸 (電気通信大学)

特別セッション：リスク発見: リスク検知に向けて
— 津本 周作 (島根大学)

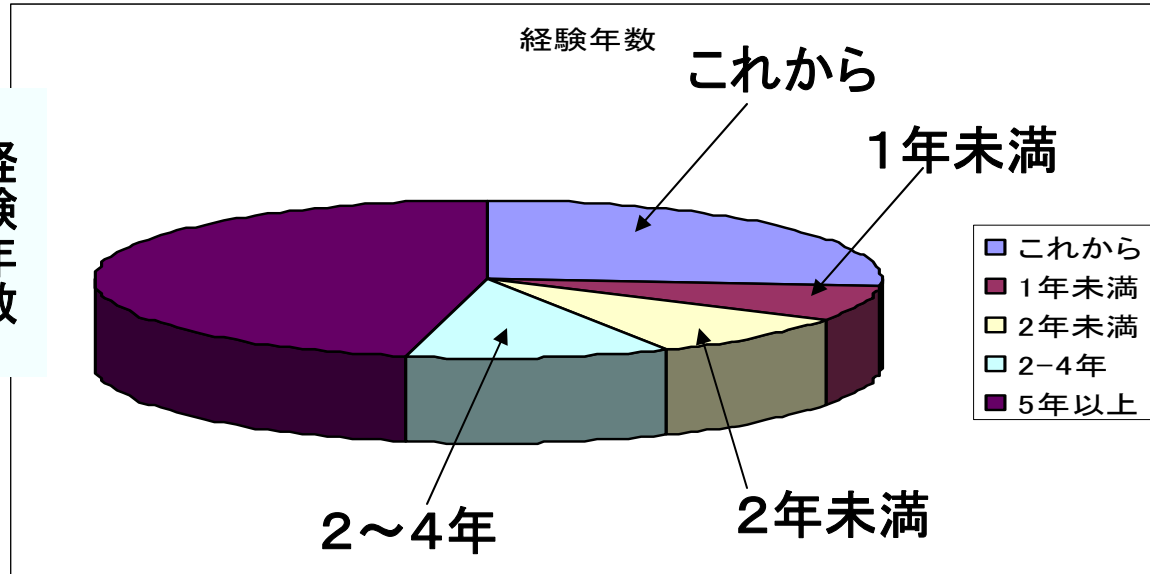
国内参加者の参加履歴



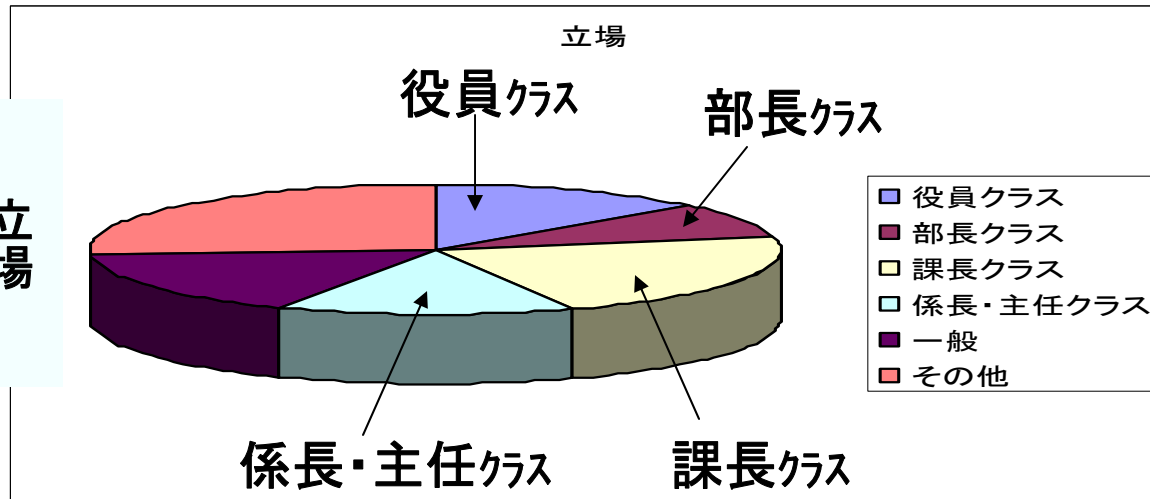
★今回は初めての参加者が増え、
2回目の方と合わせると半数となった。

国内参加者の経験年数と立場

経験年数

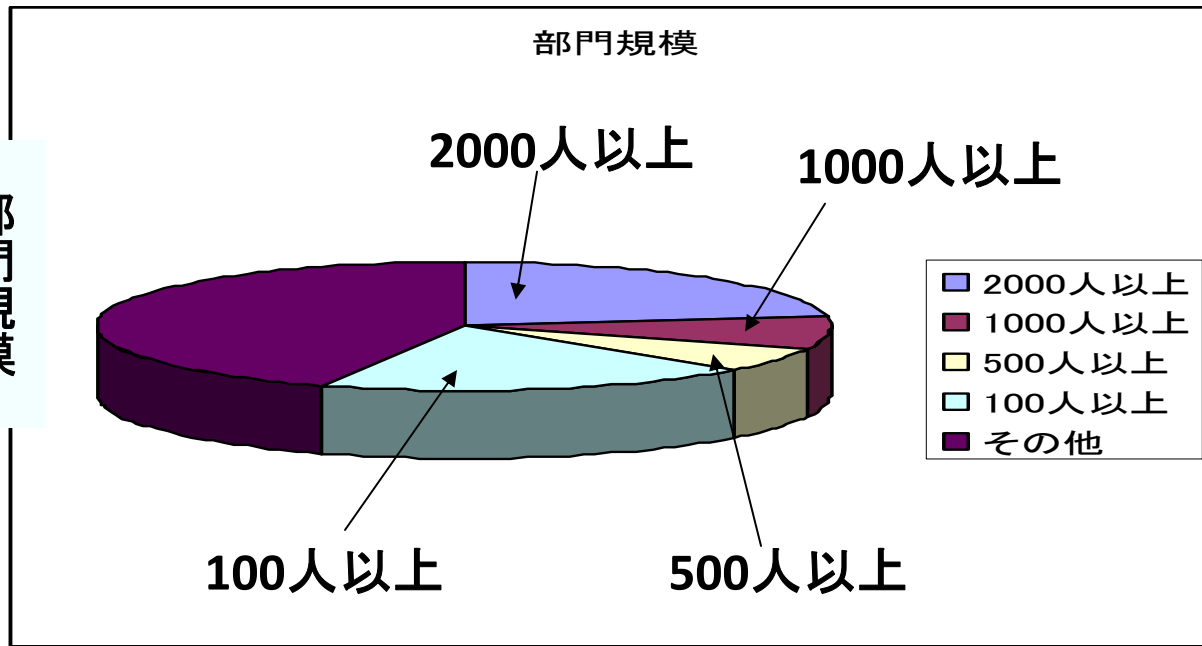


立場

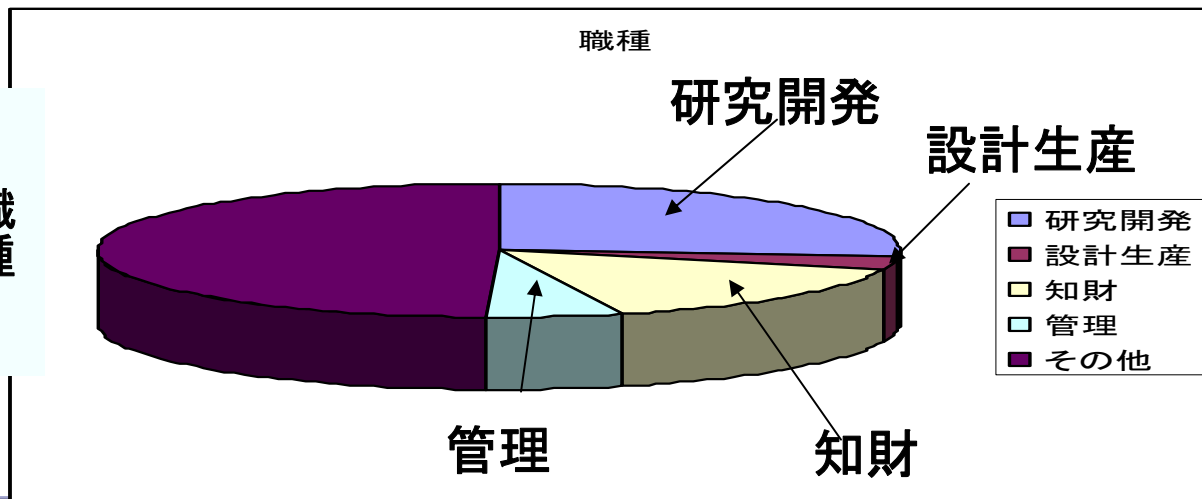


国内参加者の部門規模と職種

部門規模



職種



NPO法人 日本TRIZ協会

2004年5月 TRIZ懇話会発足
2005年1月 日本TRIZ協議会に衣替え
2007年12月 NPO法人日本TRIZ協会発足

活動形態

会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動

活動の目的

- 日本に於けるTRIZ普及活動のセンターとして機能する
- 我が国の技術開発力、国際競争力強化に資するため、活動をオープンで全国的なものにする
- TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する

日本TRIZ協会の活動内容

主な活動

TRIZの普及&活用に向け

- ・ シンポジウムの企画開催
- ・ セミナーの企画開催
- ・ 研究会活動
- ・ 教育/出版のためのコンテンツの開発

上記のために以下の組織で活動

- 企画委員会：新規事業の企画立案・推進、中長期計画立案
- 技術委員会：研究会統括推進、コンテンツ開発
- 広報委員会：広報活動企画推進、HP運営、メルマガ発行
- 総務委員会：運営全般、事務局業務、会計業務
- シンポジウム実行委員会：シンポジウムの企画実行

日本TRIZ協会の研究会活動

研究会活動

■ 知財創造研究分科会（主査：長谷川公彦氏）

- ・ 活動成果は明日の午後ポスターセッションで発表
- ・ 昨年 & 一昨年の成果はCD等で入手できます
(受付に置いてあります)

■ ビジネス・経営TRIZ研究分科会（主査：吉澤郁雄氏）

- ・ 活動成果は本日の午後B会場で発表

これらの研究会活動についての発表をお聞きになって是非ともご参加をご検討下さい。

また、上記以外にもご希望に応じて研究会を開催できます。
不明な点は協会関係者に気軽にお問い合わせ下さい。

第9回TRIZシンポジウム準備&実行組織

■シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原 祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古 和司

実行委員（事務局）：池田 理、大田 哲也

実行委員（ポスターセッション担当）：福嶋 洋次郎

実行委員（スライド翻訳）：津波古 和司、小西 慶久

実行委員（広報担当）：前古 護、広報委員会

プログラム委員長：小西 慶久

プログラム委員：有田 節男、坪倉 紀子、澤口 学、大田 哲也

■開催準備協力

会場担当：統計数理研究所 椿 先生、岡本先生、河村先生、須藤先生

開催準備：古謝 秀明

ポスター&パンフレットデザイン：志方 淳子

■会場設営

統計数理研究所 椿 先生、岡本先生、河村先生、須藤先生

TRIZ協会運営委員

（敬称略）

- これからの発表に対して
皆さんの活発なご討論をお願いします。
- 有意義な2日間を過ごされることを
期待しています。

謝辞

今回のシンポジウム開催に際し
会場のご使用をご快諾いただき、かつ
種々のご便宜をお図りいただいた
情報・システム研究機構 統計数理研究所の
関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。